

社会資本総合整備計画（広域連携事業） 事後評価書

令和元年7月18日

計画の名称	1 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を核とした紀伊地域の活性化		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	和歌山県（三重県、奈良県と連携）
計画の目標			

紀伊地域において、奈良県、三重県、和歌山県の3県に跨る世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を核とした広域的な観光振興施策を実施することにより、地域の活性化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 奈良県、和歌山県、三重県の観光客入込客数の増加 和歌山県における観光入込客数の増加 		
	10,090万人（H20）	→	10,700万人（H26）
	※奈良県、三重県、和歌山県の観光入込客数は各県の延べ観光客数の総数		

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H20末)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
・和歌山県における観光入込客数	31,340千人	31,700千人	32,000千人 (2%増)	

全体事業費	合計 (A+B+C)	880 百万円	A	855 百万円	B	0 百万円	C	25 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.8%
-------	---------------	---------	---	---------	---	-------	---	--------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
和歌山県県土整備部で評価	令和元年7月
	公表の方法
	和歌山県ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 広域連携事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	県道	改築	(主) 高野天川線 高野山工区	現道拡幅 L=250m	高野町						17	完了
1-A1-2	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	県道	改築	(一) 阪本五條線 東富貴工区	バイパス L=150m	高野町						48	完了
1-A1-3	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	県道	改築	(一) 龍神十津川線 丹生ノ川工区	現道拡幅(待避所含む) L=600m	十津川村						180	継続
1-A1-4	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	国道	改築	(国) 169号 北山工区	現道拡幅 L=900m	北山村						600	継続
1-A1-5	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	国道	防災	(国) 371号 高野山龍神工区	災害防除	高野町・田辺市						5	完了
1-A1-6	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	県道	防災	(一) 龍神十津川線 丹生ノ川工区	災害防除	田辺市						5	完了
小計(道路事業)														855			
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計														0			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	交流促進	一般	和歌山県	直接	和歌山県	—	「吉野・高野・熊野の国」三県共同事業	広域圏統一シンボルマークの作成や広報ツールの作成等	高野・熊野地域							25	継続
合計														25			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
1-C-1	道路事業の整備と合わせ、奈良県、三重県、和歌山県が連携して、「吉野・高野・熊野の国」の地域をPRすることにより、広域的な観光交流の活性化を図る。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する	交付対象事業の効果の発現状況			<ul style="list-style-type: none"> ・(主) 高野天川線、(一) 阪本五條線、(一) 龍神十津川線、(国) 371号の道路改良を行った結果、観光拠点施設へ至る道路交通の安全性、快適性が向上し、高野・熊野地域への誘客を促進させた。 ・「吉野・高野・熊野の国」三県共同事業で広域圏統一シンボルマークの作成や広報ツールの作成を行い、各種イベントや広報媒体にて紀伊地域の魅力を発信することで誘客を促進させた。 			
II 定量的指標の達成状況	和歌山県における観光入込客数	最終目標値	32,000千人	最終実績値	30,821千人	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年には紀伊半島大水害が発生したため、和歌山へ訪問した観光客は27,617千人まで減少した。 ・そのため、平成26年の観光入込客数は30,821千人と目標値には届かなかったものの、(主) 高野天川線、(一) 阪本五條線の道路改良の完成による事業効果もあり、平成23年に対しては11%まで増加させることができた。
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)							

3. 特記事項(今後の方針等)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続中の箇所は早期供用できるよう事業進捗を図る。 ・三県共同事業については、引き続きイベント活動等を行い、さらなる誘客促進を図る。

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (広域連携事業)

